

AIの勝負はモデルでは終わらない：急成長ユニコーン「Genspark」が示す新戦略

Genspark (MainFunc Inc.) は、設立1年強で評価額26億ドルに達したAIスタートアップ。「AIの価値はモデルそのものではなく、業務への最適化と文脈にある」という思想を掲げ、日本を最重要市場の一つとして大規模な投資を行っています。

戦略の転換：モデルのコモディティ化と「成果物」への集中

最先端モデル (F1) を作る競争ではなく

「F1マシン」から「日常使いのEV」へ
実務に最適なモデルを使い分ける体験を提供。



F1マシン



日常使いのEV



Mixture-of-Agentsによる最適化

60以上のモデルから、コストと賢さのバランスが最も良いものを自動で選択し実行。

チャットでの会話ではなく



One Prompt, Job Done (成果物志向)

スライドや財務モデルなどの完成した「仕事」を直接提供。

市場の評価と未来への「堀（モート）」

12ヶ月でARR

2.5億ドルを達成

社員わずか70名で、世界7,000社（うち日本2,500社）の導入基盤を構築。



記憶レイヤー「SecondBrain」

業務データを蓄積し、毎回前提を説明しなくても文脈を理解する独自の「堀」を構築中。



日本市場へ3年間で1億ドルの投資

日本を米・韓と並ぶトップ3市場と位置づけ、日本法人設立やTVCMを積極展開。

資本効率と成長スピードの実績

累計調達額 | 6.45億ドル

企業評価額 | 26億ドル
(約4,000億円)

ARR (年間経常収益) | 2.5億ドル
(0から1年で達成)